



も と は し つ う し ん

本橋通信

第19号
2022年3月

本橋Fαオフィス 電話:090-7909-2111/メール:rmotohashi0419@gmail.com

★★★★この本橋通信は、私とご縁のあった方に差し上げている個人通信です★★★★

★キャッシュレス決済恐るべし…★

皆さまこんにちは。本橋通信第19号をお届けいたします。今月もどうぞ最後までお付き合いください。今回のテーマは「スマートキャッシュレス決済体験」の落とし穴です。もうコントに近い話かもしれません…

毎月中旬になると、クレジットカード会社から利用明細の封書が届きます。最近ではWEBでの利用確認を盛んに促してくるのですが、私はどのくらいカードを使ったのか、目で確認したいタイプのため、固くなくに郵送での受け取りを希望し続けています。昔々(外銀勤め頃)の私は、仕事の会食・ゴルフも全て自分のカード払いで、毎月の請求書が来る度に、「先月はアレコレと使い過ぎてしまった～」と一旦は反省しますが放置。そして代金引き落とし日ギリギリに、封筒に親指をツッコミ、ビリビリッと開封して決済口座に入金するという早業連携プレーで乗り切るのでした。そんなカード決済の達人を自認する私の目に、見慣れぬ請求金額が…ん?「〇〇ペイ スズキ…」、しかも結構な高額です。「何だコレは、いやぁ全く記憶にない…誰かが勝手に私のカードを使った不当請求に違いない!」と大騒ぎです。すると妻が「日付はいつで何処に行ったのよ」と言うので手帳を見てみると…18:00-@鈴木と記してあります。夜の約束で鈴木さんって誰だ? しかもこういう予定の書き方はまずしないなあ…とまだ解りません。とその時、「そうだ、CNO田村と年末お疲れさん会で鰻に行った店が『鈴木』だったと思い出し、確かお会計時はカードを預けた後、



タッチペンでピッであったような気がして、支払った記憶もさほど鮮明ではありません。会計の痛みと違和感を伴わないスマート決済の光と影について私からの体験レポートでした。因みに恐るべしなのは、スマートキャッシュレス決済である訳もなく、曖昧な私の記憶力の問題です。

📖CNO(チーフ何でもオフィサー)田村の本棚より📖

直近で読了した本をご紹介します。宮崎成人『教養としての金融危機』講談社現代新書。著者は、国内外の金融機関に携われた知見から、本書を国際的・ヒストリカルに綴っています。第一次世界大戦～現在の経済・政治・金融制度・事件を、時代背景・国や企業の状況状態と関係性から紐解き、一連の流れとして掴める本です。私は総論や概論よりも、歴史や事例(流れと事実)から入る方が、(理解はともかく)読みやすいのでリズム良く読了出来ました。本書を大きくまとめると、金融危機は、数多の成功失敗事例があり、一定の処方箋がある企業活動と異なり、発生頻度は低く、生じた時は以前対応した時と様相(経済・政治・金融制度)が大きく異なり、従前の処方箋はそのまま使えない。そして、金融危機対応にあたり過去の経験から、各国の協調は理解しつつも、利害やエゴは当然ある。こうした状況下で、各国・機関は、当面の危機を脱する措置とパニックを増幅させないメッセージが必要。しかしながら、金融危機につながる各国・企業の課題は、生活習慣病的なものから、予期できぬものまであり不可避。不可避ではあるが、人類共通の課題に取り組みながら、規律の中でイノベーションを維持することで、「長い危機」と「交通事故」は減るのではないか。だが、それは簡単ではない。本書は関心がある項目を読むという使い方も可です。

私個人の学びとして、例えば世界金融危機(日本ではリーマンショック)を本・映画から自分なりに学びましたが、本書を読み前後の文脈を得ることで、認識と興味が少し深まった気がします。



✍️ IFA(Independent Financial Advisor)本橋の視点より ✍️

共同通信社さま経由にて、各地方新聞紙面に掲載されましたコラム...今回は「バランス型投信」です。いつの時代も意外と根強い人気のバランスファンドですが、常に進化し、新しいコンセプトの商品設計になっていたりと百社百様ですが...

Q. バランス型投信が売れているようですが...

A. バランス型投信は国内外の株式・債券・不動産投信(REIT)などの資産に分散投資するタイプの投資信託です。資産運用の基本であるリスクを抑えるための分散投資や投資比率の調節をプロにお任せできるという点が、手軽で取り組みやすいとされ、投資初心者を中心に人気があります。

種類はさまざまで①株式などリスクが高い資産が多めの積極型、②債券などリスクが低い資産が多めの安定型、③当初からそれぞれの資産配分割合が決まっている固定比率型、④経済状況によって随時変更することができる可変比率型、⑤国内資産を重視するタイプ、⑥逆に海外資産を重視するタイプ-などがあります。

超低金利で運用難が続く昨今は、先物でレバレッジをかけ、より高いリターンを狙う比較的风险を取った「〇倍〇分法」なる新タイプのバランス型投信も登場しました。その運用に掛かる信託報酬などのコストも、商品ごとに異なりますが、一般的にシンプルな商品設計であるほど低めの傾向があります。



「つみたてNISA(少額投資非課税制度)」や「iDeco(個人型確定拠出年金)」など、長期でじっくり資産形成ができる制度も整ってきました。ご自身の投資経験、運用スタイルに合った商品選択が大切です。(資産運用アドバイザー 本橋竜一)

昨今レバレッジで〇階建ての「〇倍型」や「ゴーゴータイプ(5倍型)?」など、商魂たくましい運用会社のネーミング合戦も目にします。分散投資はリスク管理の基本の「き」ですが...殖やすために「分散投機」ってダメですよ。

◆編集後記◆

2/10は関東地方でも大雪警戒の注意が出され、TVの気象情報では「こちら雪が降り始めている八王子駅前です」のフレーズがお約束になりました。そして、こんな日に限って娘の私立高校の受験日でしたので、何らかの想定外の事態があってはならないと、私が付き添いで行きました。幸い朝時点では積もるほどの大雪ではなかったのですが、試験前にツルっとしては気分がゲンナリだろうと、「足元に気をつけて確り歩きなさい」と私も言動を慎重に...ついつい「スベ●ナイように」と口が滑ってしまいそうなのをグッとこらえました!

◆今後本通信をご希望されない方は、お手数ですがお知らせ下さいますようお願い致します◆

【発行者プロフィール】

本橋 竜一(もとはし りゅういち)、1974年4月19日生まれ。東京郊外八王子の高尾在住。早稲田大学卒業後、横浜銀行で金融マンとして社会人をスタートしました。その後、国内(あおぞら銀行、みずほFG、三菱UFJ)、外資系(スイスUBS)金融機関にて、約15年間に渡ってプライベートバンキング(ご資産家のお客さま専用金融サービス)を経験し、ファイナンシャルアドバイザーとして独立開業。家族は妻、娘、息子の4人。



趣味はエンジョイゴルフ(スコア3桁でも緑の芝で気分爽快!)と読書(ジャンル無差別:乱読・積読?)

お客さまに対する想い:人生に専属のファイナンシャルアドバイザーがいる安心感を提供したい...

本橋FαオフィスWEBサイトは と検索! <https://www.pfa-withyourlife.jp/>

皆さまからのご感想・ご要望をどんどんお寄せください。

➡ 本橋携帯:090-7909-2111 メール:information@pfa-withyourlife.jp